



月刊下水道10月号のP86「Newsのページ」に第15回定時総会の内容が掲載されました。

全国非開削普及協議会：

第15回定時総会を開催 30年度は関東での受注拡大に注力

全国非開削普及協議会は8月24日、東京・港区のメルパルク東京において平成30年度（第15回）定時総会を開催した。

総会で可決承認された平成29年度事業報告によると同協議会は昨年度、推進工法および道路集水桝浸透化技術（EGSM工法）、マンホール浮上防止技術（インナーウェイト工法）のPR活動を全国展開するなど、東京都杉並区や同柏江市、兵庫県姫路市等での本格採用に結びつけた。

平成30年度については、関東地区を重点地区と



岡本会長

してEGSM工法、推進工法、インナーウェイト工法の受注拡大を図るほか、環境保全普及促進部会では、さらなる技術開発によるニーズの掘り起しを行い、環境保全に寄与できる各種水処理技術の向上に努める方針だ。

総会冒頭に挨拶に立った岡本州雄会長は「小口径管推進工法は近年、地盤の液状化防止対策や鉄道軌道下における障害物探査工事など多方面で活用されるなど、その用途領域が拡大している。一方、道路集水桝浸透化技術『EGSM工法』においては競争社が出現し、当協議会工法の市場を奪おうとしている現状にある。当協議会としても会員各社のさらなる協力を得て戦い抜いていく。会員各社の理解と協力により、協議会・会員各社が今後20周年に向けてますます発展することを期待している」と挨拶した。

建 通 新 聞 2018年(平成30年)9月3日<月曜日> 日刊

総 会

●全国非開削普及協議会

全国非開削普及協議会（岡本州雄会長）は8月24日、第15回定期総会を都内で開いた。岡本会長＝写真＝は「今年7月に発生した西日本豪雨災害など自然災害対策は急務だ。われわれは今後も推進工法、EGSM工法、インナーウェイト工法の受注拡大を図り、市民一人一人の安全に貢献していきたい」とあいさつした。

総会では2017年度の事業・収支報告と18年度の事業計画・予算を、全会

致で承認。役員選任ではユウコウ建設（八王子市）の渡邊勇吉社長が監事として新たに選出された。引き続き、日進産業の石子達次郎社長が「未来を切り拓くまぼろしの塗料」と題した特別講演を開き、断熱セラミックの塗装について語った。



建通新聞

東京

発行所 建通新聞社
首都圏本部東京支社
東京都港区新橋2-9-9
新橋アザビル16階
〒105-0004 電話(03)5425-2070
多摩支局 電話(042)527-7281
<http://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヵ月 40,200円(税込)
©建通新聞社 2018

平成30年8月24日 メルパルク東京にて開催致しました
第15回定時総会の内容が各新聞に掲載されました

環 境 新 聞 平成30年(2018年)9月5日(水曜日) 2431号

環 境 新 聞

発行所 環境新聞社
東京本社 ☎(03)3559-5371
〒105-0004 FAX(03)3551-1908
東京都新宿区四谷3-1-3
大阪支社 ☎(06)6252-5885
〒541-0037 FAX(06)6252-5886
水処理センター久留米支社 ☎1-14
新聞購読料 ☎(0120)1072-65
<http://www.kankyo-news.co.jp/>
郵便口座 00150-5-20286
年間購読料 24,000円(税込)
©環境新聞社 2018

総会フラッシュ

全国非開削普及協議会

15周年を迎え雨水浸透や推進工法の受注拡大を図る

全国非開削普及協議会は先月24日、東京都港区のメルパルク東京で定時総会を開催した。今年度は、関東地区を重点地区に位置付けて道路集水桝浸透化工法（EGSM工法）、推進工法、インナーウェイト工法の受注拡大を図るほか、環境保全に寄与できる水処理技術の向上に努める。

今回15回を迎えた総会冒頭にあいさつに立った岡本州雄会長は「近年に

おいて小口径管推進工法の多方面の活用がなされてきており、地盤の液状化防止対策や鉄道軌道下における障害物探査工事に用いられるなど用途領域が拡大している。一方、EGSM工法においては競争が激化しているため会員各社の更なる協力を対処したいと考えています。今後20周年に向けて「ますます発展することを期待する」と述べた。



岡本会長

